



## 第36回 伊吹文明政経セミナー・御案内

# 「令和の時代を如何に生きるか」

— 取り戻すもの・付け加えるもの —

## 2019 サマーセミナー

主催 衆議院議員 伊吹文明後援会  
新しいいぶきの会

令和の時代はどうあってほしいか—ひとり一人の理想や希望があるでしょう。実現できるか否かは、私たちの生き方に懸かっています。保守主義の代表的著作「フランス革命の省察」を表したエドモンド・バークは、「国家とは過去にこの国に生きた人達、現在この国で生きている人達、いずれこの国に生を受ける人達の共同体である」と述べています。

従って令和の時代を展望するには、日本の歴史・就中明治以降150年の近現代史の成功と失敗から、失ってはならぬもの、進んで採り入れねばならぬものを間違いのないよう取捨選択せねばなりません。明治維新から大東亜戦争敗戦までの75年は、富国強兵と列強の仲間入りに成功した明治、その成功が当り前のように続くと考えて、修正努力を怠った穏やかな大正、修正できなかったが故に列強の悪い真似をして、植民地獲得に乗り出し、利害衝突の結果、敗戦の憂き目を見た昭和前半まで。

敗戦の混乱と廃墟から立ち上り、復興と高度経済成長を達成し、その果実を使い生活水準の向上、社会資本や社会保障制度の充実に成功し、世界第二の経済大国に登りつめる一方、経済成長至上主義の風潮の陰で、人間の業が作りあげたバブルが進行していた昭和の後半。それが顕在化し、バブル崩壊により経済が停滞しても大丈夫と思ひ込み、修正できなかった穏やかな平成までが丁度75年です。

そして今、私達の前には、温暖化、長寿少子化、国際化による異文化の流入等、豊かな国になったが故に避けえぬ難問があります。これ等を令和の時代にどう克服していくか、先達に伺い、若い世代の決意を聞き、学生諸君と一緒に学びましょう。

- と き 8月9日(金) 午前9時00分(受付開始)～午後4時50分(終了)
- と ころ 国立京都国際会館(左京区宝ヶ池 ☎705-1234代)
- 会 費 14,000円/1名様(実費:但し、先着200名様限り)
- 主 催 衆議院議員 伊吹文明後援会 新しいいぶきの会  
京都市下京区四條通東洞院角 フコク生命ビル3階 ☎211-1717(代)

### SUMMER SEMINAR PROGRAM

総司会 龍谷大学渉外顧問 藤本 圭司先生  
開会式・オリエンテーション ◀9:30～ 9:40▶

(I) 開会挨拶と問題提起 上皇陛下のお言葉と令和の課題 ◀9:40～10:00▶

衆議院議員 伊吹文明

御在位三十年奉祝式典で、当時天皇陛下であられた上皇陛下は、平成の難問として、温暖化、長寿少子化、国際化による異文化の流入をあげられました。これ等は豊かになったなかで、更に豊かに、もっと便利に、自分の価値観をもっと実現したいという人間の業を抑えねば解決できない問題です。足るを知るのと謙虚な生き方を取り戻せるか—を考えましょう。

(II) 講演 戦中・戦後を生きて令和に伝える ◀10:00～11:10▶

—豊かな現在の出发点にあったもの—

茶道裏千家 前家元 千 玄室大宗匠

戦前生れでも、戦争の実体験をされた人は少なくなりました。明日は、も知れぬ特攻訓練を体験され、戦後の混乱期を生き抜かれた大宗匠は、「一盃からピースフルネスを」と平和の大切さを訴えてこられました。この時代の日本への愛情、公共の精神、家族・地域・組織への絆が、戦後日本の復興と成長の原動力でした。先達の経験と若い世代への期待を伺います。

(III) 講演 人間中心の科学技術こそ ◀11:10～12:20▶

—IT・AI時代の光と影—

中央大学 国際情報学部長 平野 晋先生

科学技術は人間を幸せにします。生活水準向上を支える経済発展は、技術革新と優秀な労働力あってこそ。便利、快適な生活、苦勞からの解放は科学技術のおかげ。だが、科学者や恩恵を受ける私達が倫理感、自己抑制を欠くと、核兵器や温暖化のように副作用が生じます。ITやAIが席卷する令和、人間は科学とどう向きあうべきか—平野先生に伺います。

昼 食 ◀12:20～13:20▶

(IV) 講演 日本経済の実力を考える ◀13:20～14:30▶

—カギを握る新しい生き方—

東京財団政策研究所 研究主幹 小林慶一郎先生

平成時代の実質GDP成長率は平均1%。「更に豊かに、もっと快適に」の期待は、GDPと海外投資収益で支えられています。長寿社会の社会保障等様々な希望・生き方のバランスをとるには、経済成長率を上げるか、生き方を変えるか。豊かさの享受者・対価の生産者である私達は、令和をどう生きるべきか—若手エコノミスト、小林先生に伺います。

コーヒー・ブレイク ◀14:30～14:50▶

(V) 講演 令和の時代の政治を担う覚悟 ◀14:50～16:00▶

—ゆるがぬ信念・寛容な姿勢—

衆議院議員 稲田 朋美先生 (30分)  
衆議院議員 小林 鷹之先生 (30分)

経済先進国では民主制による統治がゆらいでいます。豊かさのなかで多様な価値観を持てるのは素晴らしいことですが、全てを満足させることは困難。不満が生じ、足もとがゆらぎます。民主制の下で令和の政治を預るには、確かな理念と異なる意見への寛容が必要。伊吹代議士と「真の保守主義」を学び、今後に備える政治家の覚悟を伺います。

懇親パーティー ◀16:00～16:50▶

きりとせん

第36回伊吹文明政経セミナー

## 2019 SUMMER SEMINAR

受講券



ご自宅住所

〒

☎

お名前

年令 才

貴社名

★ご来場の節は、必要事項をご記入の上、受付にご提示下さい。  
(ご記入はボールペンにてお願いします。)

★先着200名様限りとしていますので、お申し込み後のお取消しはご容赦下さい。